

平成28年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立春日部女子高等学校)

e02

目指す学校像	女子伝統校として高雅な品格と思いやりの心を醸成し、進路実現のもとに真に自立し、地球市民として生きる人間を育成する。
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業で勝負する(生徒の学力向上を目的として) 2 何事にも全力投球させる。 3 「なりたい自分さがし」と「なりたい自分づくり」を進める。 4 思いやりの心を醸成する。 5 開かれた学校づくりを進め、地球市民として生きる人間を育てる。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	15名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				平成29年度評価(2月2日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
1	生徒は、概ね授業に真面目に取り組んでいるが、自学自習に関しては、質・量とも不十分であり、学力の向上に課題がみられる。	<ol style="list-style-type: none"> ①予習・復習の徹底を図り、学習習慣を定着させる。 ②学力向上につながる授業改善に取り組む。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学習合宿や学習方法講習会を通して、自学自習の動機付けとなる取組を工夫する。 ②授業改善アンケート及び学力向上に向けた職員研修会を実施する。 ③思考力向上を図るため、全校でビブリオバトルに取り組む。 	<ol style="list-style-type: none"> ①生徒の自学自習の時間が伸びたか。 ②授業改善アンケートをもとに職員研修がおこなわれ、効果的な授業改善ができたか。 ③ビブリオバトルを年度当初の計画通り進めることができたか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①隙間時間を活用するとともに、学校に残って自習する生徒の増加が見られた。 ②授業改善アンケート結果をもとに研修会を実施し授業改善に取り組んだ。 ③計画通りビブリオバトルを進め、「彩の国ビブリオバトル」では昨年度以上の成績をおさめた。 	A A A	課題 ・生徒の学力向上。 改善策 ・県事業の継続と新たに導入する事業を活用する。 ・引き続き、授業改善に取り組むとともに、中学校との連携を深める。
2	学校行事や部活動等に積極的に取り組む生徒が多くみられる一方、学習との両立が課題である。	文武両道を目指し、勉強・学校行事・部活動等に全力投球させる。	担任、部活動顧問、学年集会等を通して、適切な指導・助言を与える。	<ol style="list-style-type: none"> ①部活動の加入率及び継続率が向上したか。 ②19:00完全下校を遵守し、家庭学習時間を確保できたか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①部活動加入率及び継続率が前年度を上回った。 ②19:00完全下校を遵守し、前年度並みに家庭学習時間を確保できた。 	A A	課題 文武両道を目指す。 改善策 隙間時間の有効活用を図る。
3	生徒全体は高い進学意識を持っているが、安易な選択をするものもみられるので、一般入試にチャレンジする意識を醸成する必要がある。	<ol style="list-style-type: none"> ①進路実現のための教員の指導力を向上させる。 ②生徒の早い段階での勉強意欲の高揚を図る。 ③保護者を含めて高い進路意識を待たせる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①進路指導に関する学年集会及びガイダンスを低学年から計画的に実施する。 ②一般入試に関する情報を、クラスの進路係を活用して啓蒙する。 ③保護者対象の進路講演会や大学見学会・進路報告会を行い、本校の進路指導に関する保護者の理解を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学期に最低1回の進路集会を実施したか。 ②一般入試受験率が70%を超えたか。 ③保護者の参加者数が昨年と比べ増加したか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①全学年とも計画的に実施した。 ②指定校推薦利用者が昨年度より減少したため、一般入試受験率が増加する見込み。 ③昨年度より増加した。(大学見学会が20名増加し、奨学金に関する講演会を新たに実施した) 	A A A	課題 ・安易な進路を選択しようとする生徒が見られる。 改善策 ・一つ上の自分を目指す指導を行うとともに、国公立大学及び難関私立大学を含む4年制大学への合格者を増やす取組を行う。
4	多くの生徒は概ね良好な人間関係を構築し充実した学校生活を送っているが、一部に心に不安を抱える生徒がいる。	<ol style="list-style-type: none"> ①温かな人間関係を構築できる取組を充実させる。 ②養護教諭やカウンセラーとの連携を綿密にする。 	<ol style="list-style-type: none"> ①クラスでの活動や部活動、行事等への関わりを通して、より良い人間関係の構築を促す。 ②「保健だより」や「教育相談だより」を発行するとともにカウンセラーとの連携を行い、教育相談体制の充実を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> ①クラスでの活動や部活動、行事等への関わりを通して、より良い人間関係が築けたか。 ②心に不安を抱えた生徒のケアが図れたか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①ほとんどの生徒が良好な人間関係を築けた。 ②養護教諭やスクールカウンセラーとの連携を綿密に取り、生徒の心のケアができた。 	A A	課題 ・人間関係づくりの基礎となる挨拶指導について不十分のところがあつた。 改善策 ・挨拶指導について、年間を通して行う。
5	伝統ある女子高として地域や保護者に信頼がある一方、本校の特長が十分に伝わっていない。	<ol style="list-style-type: none"> ①地域との連携を強化するとともに、積極的に情報発信する。 ②生徒募集につながる取組を一層充実させる。 ③国際理解教育に関わる派遣事業等に積極的に参加させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校HPをより充実させ、学校の最新の取組を積極的に発信する。 ①小中学校や特別支援学校などの異校種との交流を行う。 ②中学校訪問や学習塾等対象の説明会を実施する。 ③県教委・国際協・高英研等の主催事業に積極的に参加させる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①学校HPの年間アクセス数50,000回を確保できたか。 ①異校種間交流が円滑に行えたか。 ②入試倍率が昨年度より伸びたか。 ③昨年度に比べて参加者数が増加したか。 	<ol style="list-style-type: none"> ①アクセス数月平均5,000回で、年間50,000回を超える見込み。 ②異校種間交流を円滑に行った。 ③参加するコンテストを増やし、参加者が増加した。 	A A A	課題 ・10月1日現在の中学生の進路希望状況調査において、1.0倍を超えることが課題である。 改善策 ・ホームページの充実と同時に生徒募集に関する取組を工夫改善する。

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	平成29年2月10日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・学習面については、自習室が19:00まで開いているなど、自学自習に取り組む学習環境が整備されており、保護者として子供を入学させて良かったと思つている。 ・自学自習の習慣づくりについては、中学校も模索している。学力向上に向けての授業改善に継続して取り組んでいるが、今後も続けていく永遠のテーマである。このことについて、今後、中高連携を図っていきたい。	
・部活動しながら学習にも取り組む条件として、19:00完全下校はよいと思う。 ・学校行事については、生徒が一生懸命取り組んで大変良い。 ・人間関係づくりの基礎として、挨拶は大変重要である。挨拶については、先輩から後輩に伝えられるシステムづくりが求められる。	
・授業について、100%満足できる先生がいる一方で、生徒のニーズに応えきれない部分もある。 ・生徒は真面目に授業を受けているが、与えられたものをやるだけなので、自らそれ以上を求めて欲しい。 ・進路実現に向けて、学力の向上を図るためには、アクティブラーニングの手法を導入するなどの授業改善が必要である。 ・良好な人間関係を築くためには、自己肯定感を高める必要がある。	
・社会においては、人間関係づくりは一層重要となるので、高校時代から挨拶をしっかりできるように指導してほしい。	
・ホームページについては、部活動のページをよく見ている。写真をたくさん使うと学校の様子が伝わりやすい。 ・学校説明会の感想として、在校生からの直接の話は中学生の印象に残るので、在校生を活用した説明会を実施するとよい。 ・外部の方の来校もあることから、トイレをはじめとする各所の清掃指導をお願いしたい。	